

「かけ・ボラ」

社会福祉協議会では
ボランティアとボランティアを必要としている方を
「かけはし(コーディネート)」しています。

発行/ 揖斐川ボランティア市民活動支援センター
(揖斐川町社会福祉協議会内)
TEL:(0585)23-0411 FAX:(0585)23-1678

ボランティア紹介 ~シニア読み聞かせグループ ともだち~

現在、揖斐川町では各地域に数多くのボランティア団体が、それぞれに活動を展開されています。今回、その中から“シニア読み聞かせグループ ともだち”を紹介させていただきます。

平成21年2月1日に発足、男性会員6名で活動されています。活動のきっかけは、図書館で開催された男性対象の読み聞かせの研修会が始まりでした。グループ名は、「ともだちや」という本を題材にして練習したことから名付けました。現在は、幼稚園、学童保育、施設、公民館、サロンなどを訪問し、本、紙芝居、健康講話、体験談、身近な話などで交流し、幅広く活動してみえます。自分たちが楽しんで読み聞かせをしていると、自然に相手も本の世界へ引き寄せられるのが魅力だそうです。また、「多くの活動の中で、相手からもたくさんのパワーをもらい、楽しみながら活動しています」と、明るく元気に語られました。



▲脛永公民館での様子

会からのメッセージ

現在、男性会員募集中です。出来れば60代で人生経験があり、仕事をリタイアされた方で、人と接することが好きな、特に子ども好きな方、歓迎します。是非、一緒に活動し、楽しい人生を過ごしましょう！！

岐阜県ボランティアフェスティバル'12 つながろう~共に生きるということ~

平成24年9月22日(土)、大垣市民会館において、岐阜県ボランティアフェスティバル'12が開催され、揖斐川町からは15名のボランティアの方が参加されました。

午前中は、大垣市ボランティア連絡協議会や岐阜経済大学、NPO法人などによる実践発表がありました。災害や福祉活動をテーマに、それぞれの団体が行ってきた活動、現地での体験や発見、学びなどを写真とともに詳細に発表されていました。また、大垣市レクリエーション協会「防災チュウチュウ隊」による防災劇や防災ファッションショーなどが行われ、防災について楽しく学ぶことができ、会場は笑顔で包まれました。午後からは、テレビでも話題となりました、車いすアーティストの佐野有美氏による講演が実施されました。障がいがありながらも、明るく前向きに自身を語る姿に、会場全体が心を打たれました。

参加者からは、「講師のお話に感動して本を買いました」、「揖斐川町でも障がい者との交流や防災の勉強をするといいね」などの声があり、帰りのバスの中は意見交換で盛り上がりました。

「つながろう~共に生きるということ~」のテーマのもと、人と人がかかわり合い助け合うこと、そして感謝することの大切さを感じることができたフェスティバルとなりました。



▲防災チュウチュウ隊による防災グッズ紹介

揖斐川町赤十字奉仕団「防災ずきん」をPR

揖斐川町赤十字奉仕団は、町内に6つの分団があり682名の団員で構成されています。日ごろは見守り活動及び防災活動、災害時の支援活動の訓練などを実施しています。特に「非常食づくり」は災害に備え、各地区において継続的に取り組まれています。

そのような取り組みの中、今年8月に行われた揖斐川町総合防災訓練では非常食づくりの他に「防災ずきん」の実演を行いました。当日は各分団で準備していただいた50枚の「防災ずきん」と作り方のチラシを配布し、手軽に作れる防災グッズの普及に努めました。訓練に参加した子ども連れの若いお母さんたちが熱心に作り方を尋ねている様子もみられました。

住民一人ひとりの防災意識が高まる中、赤十字奉仕団も地域防災の一役を担う団体として今後の活躍が期待されています。

「防災ずきん」の作り方

<用意するもの>

- ・フェイスタオル 3枚
- ・1mくらいのひも
- ・糸（手で切りやすい、もめん糸 または しつけ糸）

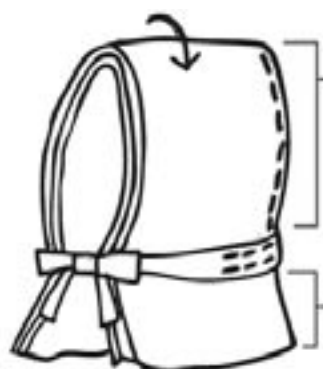
<作り方>

①タオルを3枚重ね、長い方の側面を縫い合わせる。



ほどこきやすいように、縫い目は大きめ

②①を半分に折り、下から3分の1を残し、重ねて縫い合わせる。



半分に折って、折った部分を上にして上から3分の2を重ねて縫う

3分の1はそのまま

③ひもを巻きつけ、ざっくり縫いつけ、完成。

ボランティアに関する
問合せ先

揖斐川ボランティア市民活動支援センター（揖斐川町社会福祉協議会内）
TEL: (0585) 23-0411 FAX: (0585) 23-1678